自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業所名）片倉コープアグリ㈱ 姫路工場

1　環境保全活動に関する方針等

１－１　環境保全活動に関する方針

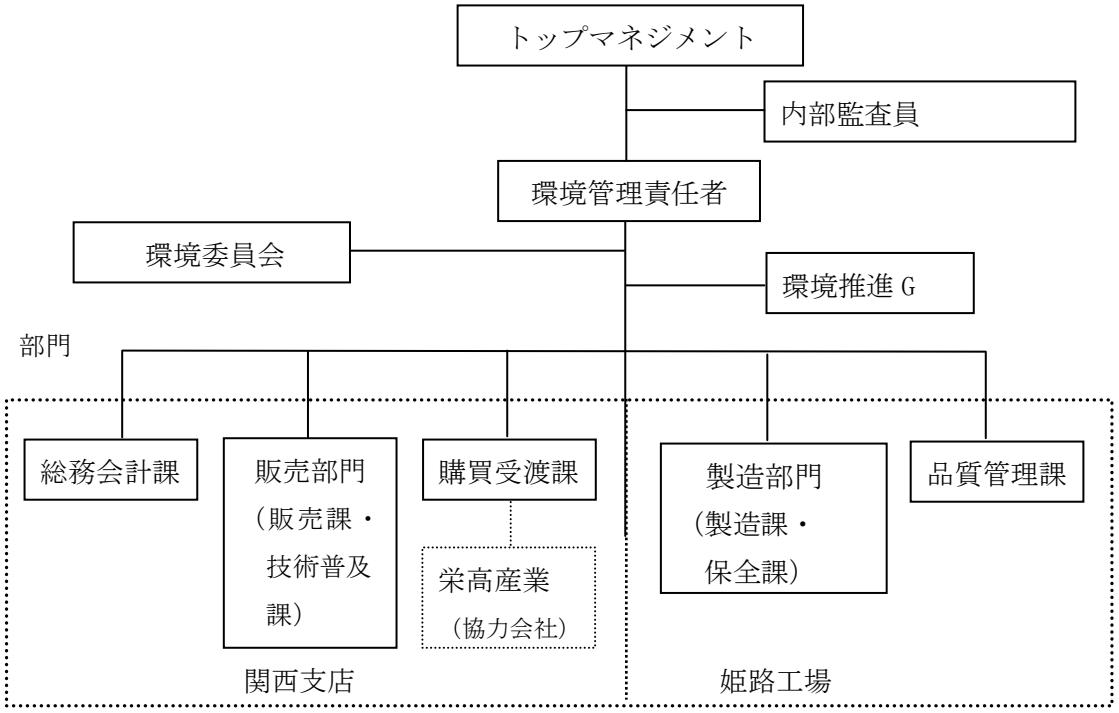
基本理念

当事業所は、地域貢献、環境共生に配慮した販売・生産活動を推進し、環境との調和した活動をおこなう。

環境方針

・豊かな食生活や健康を支える「安全で高品質、おいしい農産物」のニーズに応える有機質肥料にこだわり、農業を通じて環境に貢献する。
・廃棄物の適切な管理と削減、エネルギー軽減、再生資源の利用に努め、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善と汚染の予防に努める。
・環境に関連する法規制および同意するその他の要求事項を順守する。
・環境に関する教育・啓発を行い、全従業員及び協力会社に対し周知する。
・環境管理の維持向上及び、環境マネジメントシステムの継続的見直しをおこなう。
・この環境方針は、必要に応じて公開する。また、環境方針は総務会計課に申し込む事により誰でも入手出来るようにする。

１－２　環境保全活動に関する組織体制



2　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 （紙くずの削減）	生産量が減少したため、発生量は減少した。目標に対して 65%に削減できた。	紙の分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 （ポリの削減）	原料のフレコンバックでの入荷が増加したため、目標に対して 156%に増加した。	ポリの分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減 （電気使用量）	昼休みの消灯、設備の効率的な稼働に努めた。事業所の照明を LED 照明に切り替えをすすめた。全部門で電気使用量は目標に対して 89%に削減した。	資源の使用量の削減（電気） 電力量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減 （重油・ガス使用量）	乾燥炉を重油バーナーからガスバーナーに変更した。乾燥効率の改善による使用量削減のためガス使用量のデータを収集した。	資源の使用量の削減（燃料） 燃料量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
燃料の使用 〈著しい環境側面〉 （軽油使用量）	場内製品置き場の整理整頓を進め、無駄な移動を削減した。出荷数量の減少もあり目標に対して 58%に削減した。	資源の使用量の削減（軽油） 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
紙使用量の削減	新システムの導入により紙の使用量が減ったことと裏紙活用により、目標に対して 98%の使用量であった。	紙の使用量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度まで維持
有機入り製品の営業活動 〈著しい環境側面〉	有機入り製品の販売数量が減少し、目標に対して 95%となった。	有機入り製品の販売量を 2012 年度を基準に 2015 年度までに 1%増加

＊目標達成率は2015年度の評価です。